

平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月8日

上場会社名 株式会社オプトホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2389 URL https://www.optholding.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鉢嶺 登
 問合せ先責任者 (役職名) グループ・ファイナンス本部本部長 (氏名) 足立 知彦 TEL 03-5745-3611
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	64,069	6.3	1,223	△36.4	1,260	△29.7	1,236	61.5
29年12月期第3四半期	60,278	15.1	1,925	40.4	1,793	25.1	765	0.6

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 12,267百万円 (-%) 29年12月期第3四半期 905百万円 (254.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益		EBIT ※1		EBITDA ※2	
	円	銭	円	銭	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	54.59		54.13		2,541	38.9	4,837	61.7
29年12月期第3四半期	33.09		32.98		1,829	24.0	2,990	9.2

(注) ※1 EBIT=税金等調整前四半期純利益+支払利息-受取利息

※2 EBITDA=EBIT+その他金融関連損益+減価償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+非資金損益

(参考) 平成29年12月期第3四半期の経営成績には、前連結会計年度末に売却した株式会社クラシファイドの業績が含まれております。なお、前年連結経営成績から株式会社クラシファイドの影響額を除外した数値は以下のとおりです。

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		EBIT		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	64,069	15.6	1,223	△31.7	1,260	△25.2	1,236	68.1	2,541	49.9	4,837	70.3
29年12月期第3四半期	55,407	—	1,791	—	1,686	—	735	—	1,695	—	2,840	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		AUM ※3	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	61,189		30,523		45.0		26,273	
29年12月期	46,127		18,813		33.0		—	

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 27,508百万円 29年12月期 15,218百万円

(注) ※3 AUM：子会社株式・関連会社株式の帳簿価額及び営業投資有価証券・投資有価証券の公正価値（※4）の合計額

※4 公正価値：取引の知識がある自発的な当事者が独立の第三者間取引において資産を交換又は負債を決済する場合の金額

AUMの算定方法：子会社株式・関連会社株式については帳簿価額、営業投資有価証券・投資有価証券については以下銘柄ごとに区分して公正価値を算定しております。

- ・投資額が少額な銘柄：取得価額
- ・上場会社である銘柄：2018年9月末の市場価格
- ・直近でファイナンス（株式による資金調達）がある銘柄：当該ファイナンス価額に基づいた評価額
- ・上記以外の銘柄については事業の状況に応じてマルチプル法・DCF法・純資産法に分類して算定しております。

公正価値算定に関して、有限責任あずさ監査法人の指導及び助言を受けております。

平成29年12月期のAUMは、算定していないため「—」としております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年12月期	—	0.00	—		
30年12月期（予想）				—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

なお、平成29年12月期より配当については、のれん償却前親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向20%を目標としております。

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	10.2	2,100	△5.6	1,500	△21.9	1,400	38.5	61.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（参考）

・EBIT 平成30年12月期予想：2,700百万円

・EBITDA 平成30年12月期予想：4,600百万円

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	23,817,700株	29年12月期	23,817,700株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	917,705株	29年12月期	1,200,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	22,646,522株	29年12月期3Q	23,135,673株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（サマリー情報の参考についてのご注意）

- 1. EBIT＝税金等調整前四半期純利益＋支払利息－受取利息
- 2. EBITDA＝EBIT＋その他金融関連損益＋減価償却費＋無形固定資産償却費＋長期前払費用償却費＋非資金損益